

●表紙イラスト

鶴田一郎 (1954年 本渡市生まれ)

表紙のことば

地球内部の熱いエネルギーをはき出したような猛々しい火口とは裏腹に、それを大きく包み込むように広がる穏やかなカルデラや 頂に続く山々のもつ曲線はなんとも女性的です。私は掃るきないやさしさをも合わせ持つ阿蘇が大好きです。今回はそんな阿蘇をイメージして描いてみました。

●シーン'88撮影 (熊本市西町下江津にて)

池田輝明

何気なく歩いていた水田のあせ道で自噴水を発見。パイプからこんこんと湧き出すきれいな水に迷わずシャッターを切りました。

編集後記

最近、ミネラルウォーターが人気と聞きました。欧米では、すでに「水」産業が立派に成り立っているといえますし、東京ではカフェバーならぬウォーターバーが大流行とか…。健康ブームやグルメ志向に乗ったものとも思えますが、一方、それ程水道の水がおいしくないということもありません。

熊本に住む私達は、ごく自然に、水道の水をコップにとってそのまま飲みます。でも、それは、他所から見ると信じられないくらいうらやましく、又、ぜいたくなことかもしれませんね。改めて、熊本に生まれたことを有難く感じました。

嘉島町、御船町にまたがる日本台地にサントリーのビール工場が建設されることになり7月18日、県庁で進出協定の調印が行われました。

サントリーは、美術や音楽、自然保護など文化振興にも力を注いでいる企業で、熊本工場も、「技術と緑の公園工場」として、一般に公開される「地域に密着した工場」づくりが行われるとのこと。

この進出は、活力ある田園文化圏の創造を目指す熊本にとって、経済面はもちろん、文化面でも大きな力となりそうですね。

「くまもとの風」愛読者募集

本誌の年間購読を希望される方は、1年分の郵送料1,440円(240円×6回)分の切手を同封のうえ、下記へお申し込み下さい。(随時受け付けます。)

〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号  
熊本県広報課

「くまもとの風」係

昭和63年度  
第1回県民提案募集

●テーマ  
「熊本文化の発展についての私の提案」

■応募方法  
四百字詰め原稿用紙(五枚以内)に記入のうえ期日までに郵送又は持参してください。(提案に関する資料等の添付)なお、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記してください。

■募集期間  
昭和63年8月1日から昭和63年9月15日まで(消印有効)

■送り先及び問い合わせ先  
〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号  
熊本県広報課  
☎(096)383-1111(内線2221)



●収録日記  
「オレンジの自由化対策——植木町」

宮本裕さんは植木町のハウスみかんの先駆者的存在。あいにくの曇り空の下、田原坂ニュータウン近くの宮本さんのハウスで収録は行われました。工夫を重ねて9年、今や植木町にハウスみかんはすっかり定着しました。

「オレンジの自由化により、国外の安いオレンジが入ってくる日も遠くはないでしょう。でも、消費者は温州みかんに戻ってくると思うんです。やはり、おいしいものが勝ちますからね。」と胸を張る宮本さん。ハウスみかんは路地ものより3度糖度が高い。熊本のみかん農家のたくましさを感じた一日でした。

●制作スタッフの  
ひとこと

「5月の水害の後、清和文楽の取材に行ったんですけど、田植えと災害の復旧で忙しくて急遽、午前中だけの収録というのがありましたね。あと、いいシーンに会ったりすると予定外に収録したりとか。結構いろんなことがあるんですよ。」15分の番組を作るのに取材に1日、制作に約15時間かかるといいます。平均年齢27才の若いスタッフたちは汗だくになりながら、こうして「くまもと2」を影から支えているのです。



レポーター 西谷裕子

趣味: 社交ダンス、釣り  
(暇があれば、即、夫婦で天草へ。)

「県の広報番組というと、ちょっと固いイメージがするでしょう。だから明るいトーンで、わかりやすい聞きやすい言い回しで工夫しながら読んでいますよ。」声、だけの参加なので、なるべく取材にも合流してスタッフとコミュニケーションを図っているという西谷さん。彼女は結婚して1年。主婦としても消費者問題に関心が強くなったそうです。

「いつになるかわからないけど(笑)、生まれてくる子供の為にも「熊本の今」にはとても興味があるんです。「もっとよくなるよ」という姿勢が熊本にはありますよね。身近で役に立つ情報がほしいの。『くまもと2』日曜朝11時からです。もっともっと頑張りますから、ぜひ見て下さいね。」

●広報メディアMIX

新鮮な驚きでいっぱい

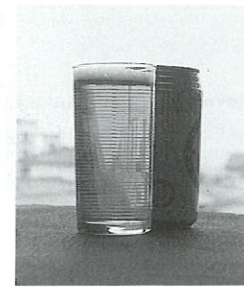
県民一人一人の生活と県政を結び糸口として、県民の生活する姿と生の声をお送りしている「くまもと2」。その制作風景を覗いてみましょう。

「RKK」くまもと2「テレビ日曜日AM11時〜11時15分」

●「ビールで乾杯」

匿名(28才会社員/八代市)

私はビールが好きです。そして、ビールといえば夏。いよいよ今年も、シーズン到来ですね。どこで誰と飲んでもうまいのですが、やはりベストは会社帰りの一杯だと思います。1日の仕事を終えた解放感。冷えたグラスにビールを注いで、ネクタイをちょっとゆるめて………実際、あのネクタイというのは、ビールをうまくするために発明されたんじゃないかと思えるくらい。好きですねえ、あの一瞬。ふーっと、リラックスできます。皆さんも、ビールの時は、ネクタイ。試してみる価値はありますよ。



●「墓参」

今村久男(60才会社員/熊本市)

母の故郷が芦北の津奈木なので、最近7月15日に津奈木に行くことにしている。正行寺という寺に納骨堂があって、父と母の骨壺を納めてあり、墓参のためである。津奈木という所は、これといった産業もなく、町全体の様子もほとんど変わらない。変わったことといえば、干拓地に役場が移転し、役場や橋に絵画や彫刻が飾られて、話題になったくらいである。海岸でありながら山に囲まれていて、空気は澄みじつりと暑い。先日帰ったら、「高野山が来る」という話を聞いた。高野山真言宗九州総本山建立のことは新聞でも見たが、町の人はとまどいと期待の入り混じった感じだった。本堂、研修施設のほか、医療施設等、「宗芸種智院」のようなものでもできたらと思う。投げられるかもしれない一石の波紋の拡がりに期待したい。

HOTLINE

街角便り

●「よさく」

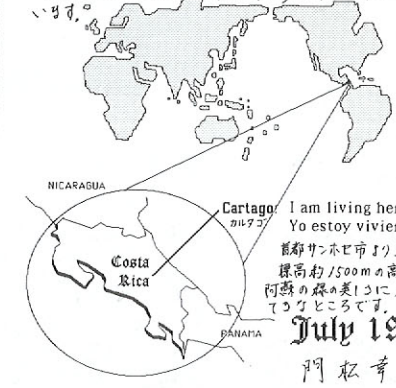
村山里香(9才小4/菊池市)

学校のそばに、犬がいます。その犬は年よりで「よさく」といいます。私が「よさく」というと、つまらなそうにこっちを見ますが、すぐに知らんぷりをします。さわっても、ほえません。おかしをあげると、とても喜んでしっぽをふります。あんまり走ったりはしない犬だけど、とてもかわいいです。うちには犬もねこもいないので、私も「よさく」みたいな犬がほしいと思います。

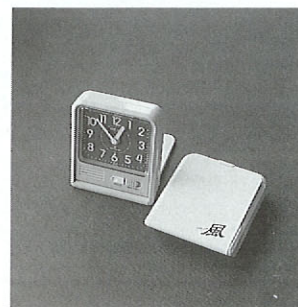


●「コスタリカより」

暑中お見舞い申し上げます。  
「くまもとの風」(92号)を今日初めて手にしました。ありがとうございます。  
私は青年海外協力隊隊員として Costa Rica へ派遣され、コスタリカ工科大学コンピュータ学科にて協働活動を通して一年が過ぎました。残りの任期中もコンピュータによる地球サイズのヒューマンネットワーク創りを夢みて奮闘しています。



\*この地図はパソコンで描いてみました。



●お便り募集

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を二百〜四百字程度にまとめてお送りください。(採用された方には「風時計」をプレゼント)

●あて先

〒862 熊本市水前寺6丁目18-1  
熊本県広報課「くまもとの風」係

たくさんのお便りをお待ちしています。